

幼稚園、保育所、認定こども園の皆様
江別第二小学校の職員へ

このカリキュラムは、年度ごとに更新・改善していきたいので、気が付いたことを朱書きして記録するか、
担当：宮浦までお知らせください。

TEL011-383-0015 fax011-383-0016



R7 江別市立江別第二小学校
スタートカリキュラム

江別第二小スタートカリキュラムについて

はじめに

「スタートカリキュラム」とは、小学校に入学した児童がスムーズに学校生活へ適応していけるように編成する小学校入学当初のカリキュラムです。入学したばかりの児童に「明日も学校に来たい」という意欲と安心感をもたせ、幼児期の教育から小学校教育への円滑な接続ができるようにカリキュラムを工夫していきます。

設定のねらい

①入学した児童が、幼児期の教育における遊びや生活を通した学びと育ちを基礎として、**主体的に自己を発揮しながら学びに向かうことができるようなカリキュラム**を設定する。

②生活科を中心に合科的・関連的な指導や弾力的な時間割の設定などの指導の工夫や指導計画の設定を行うことで、**教育活動の質の向上**を図る。

【設定のねらい①に関わって】

小学校においては、幼児期の終わりまでに育ってほしい姿を踏まえた指導を工夫することにより児童が主体的に自己を発揮しながら学びに向かい、幼児期の教育を通して育まれた資質・能力を更に伸ばしていくことができるようにすることが重要である。

「小学校学習指導要領解説総則編」第3章2節4(1)より一部抜粋

幼稚園では、幼児が自ら興味や関心をもって、環境へのふさわしい関わり方を身に付けていくことを意図された教育が行われています。こうした幼稚園教育の基本に基づいて、幼児期にふさわしい遊びや生活を積み重ねることにより育みたい具体的な姿が、次の「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」10の項目です。これらを踏まえ、小学校生活の基盤へとつなげていきます。

「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」10の項目 →小学校へのつながりの例

(1) 健康な心と体

幼稚園生活の中で、充実感をもって自分のやりたいことに向かって心と体を十分に働かせ、見通しをもって行動し、自ら健康で安全な生活をつくり出すようになる。

小学校への
つなが
りの例

- ・時間割を含めた生活の流れがわかるようになると、次の活動を考えて準備する。
- ・安全に気を付けて登下校する。
- ・小学校での運動遊びや、休み時間に他の小学生と楽しく過ごす。

(2) 自立心

身近な環境に主体的に関わり様々な活動を楽しむ中で、しなければならないことを自覚し、自分の力で行うために考えたり、工夫したりしながら、諦めずにやり遂げることで達成感を味わい、自信をもって行動するようになる。

小学校への
つなが
りの例

- ・自分でできることは自分でしようと積極的に取り組む。
- ・生活や学習での課題を自分のこととして受け止めて意欲的に取り組む。
- ・自分なりに考えて意見を言ったり、分からないことや難しいことは、先生や友達に聞いた
りしながら粘り強く取り組む。

(3) 協同性

友達と関わる中で、互いの思いや考えなどを共有し、共通の目的の実現に向けて、考えたり、工夫したり、協力したりし、充実感をもってやり遂げるようになる。

小学校へのつながりの例	・学級での集団生活の中で、目的に向かって自分の力を発揮しながら友達と協力し、様々な意見を交わす中で新しい考えを生み出しながら工夫して取り組んだりするなど、先生や友達と協力して生活したり学び合ったりする。
-------------	---

(4) 道徳性・規範意識の芽生え

友達と様々な体験を重ねる中で、してよいことや悪いことが分かり、自分の行動を振り返ったり、友達の気持ちに共感したりし、相手の立場に立って行動するようになる。また、きまりを守る必要性が分かり、自分の気持ちを調整し、友達と折り合いを付けながら、きまりをつくったり、守ったりするようになる。

小学校へのつながりの例	・初めて出会う人の中で、幼児期の経験を土台にして、相手の気持ちを考えたり、自分の振る舞いを振り返ったりなどしながら、気持ちや行動を自律的に調整し、学校生活を楽しくしていこうとする。
-------------	--

(5) 社会生活との関わり

家族を大切にしようとする気持ちをもつとともに、地域の身近な人と触れ合う中で、人との様々な関わり方に気付き、相手の気持ちを考えて関わり、自分が役に立つ喜びを感じ、地域に親しみをもつようになる。また、幼稚園内外の様々な環境に関わる中で、遊びや生活に必要な情報を取り入れ、情報に基づき判断したり、情報を伝え合ったり、活用したりするなど、情報を役立てながら活動するようになるとともに、公共の施設を大切に利用するなどして、社会とのつながりなどを意識するようになる。

小学校へのつながりの例	・相手の状況や気持ちを考えながらいろいろな人と関わることを楽しむ。 ・関心のあることについての情報に気付いて積極的に取り入れたりする。 ・地域への親しみや地域の中での学びの場を広げていく。
-------------	--

(6) 思考力の芽生え

身近な事象に積極的に関わる中で、物の性質や仕組みなどを感じ取ったり、気付いたりし、考えたり、予想したり、工夫したりするなど、多様な関わりを楽しむようになる。また、友達の様々な考えに触れる中で、自分と異なる考えがあることに気付き、自ら判断したり、考え直したりするなど、新しい考えを生み出す喜びを味わいながら、自分の考えをよりよいものにするようになる。

小学校へのつながりの例	・新しい環境や教科等の学習に興味や関心をもって主体的に関わる。 ・探究心をもって考えたり試したりする経験は、主体的に問題を解決しようとする。
-------------	---

(7) 自然との関わり・生命尊重

自然に触れて感動する体験を通して、自然の変化などを感じ取り、好奇心や探究心をもって考え言葉などで表現しながら、身近な事象への関心が高まるとともに、自然への愛情や畏敬の念をもつようになる。また、身近な動植物に心を動かされる中で、生命の不思議さや尊さに気付き、身近な動植物への接し方を考え、命あるものとしていたわり、大切にすることを覚えるようになる。

小学校へのつながりの例	・自然の事物や現象について関心を持ち、その理解を確かなものにしていく基盤となる。 ・実感をもって生命の大切さを知ることは、生命あるものを大切に、生きることのすばらしさについて考えを深める。
-------------	---

(8) 数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚

遊びや生活の中で、数量や図形、標識や文字などに親しむ体験を重ねたり、標識や文字の役割に気付いたりし、自らの必要感に基づきこれらを活用し、興味や関心、感覚をもつようになる。

小学校へのつながりの例

- ・ 小学校の学習に関心をもって取り組み、実感を伴って理解する。
- ・ 学んだことを日常生活の中で活用しようとする。

(9) 言葉による伝え合い

先生や友達と心を通わせる中で、絵本や物語などに親しみながら、豊かな言葉や表現を身に付け、経験したことや考えたことなどを言葉で伝えたり、相手の話を注意して聞いたりし、言葉による伝え合いを楽しむようになる。

小学校へのつながりの例

- ・ 友達と互いの思いや考えを伝え、受け止めたり、認め合ったりしながら一緒に活動する。
- ・ 自分の伝えたい目的や相手の状況などに応じて言葉を選んで伝えようとする。

(10) 豊かな感性と表現

心を動かす出来事などに触れ感性を働かせる中で、様々な素材の特徴や表現の仕方などに気付き、感じたことや考えたことを自分で表現したり、友達同士で表現する過程を楽しんだりし、表現する喜びを味わい、意欲をもつようになる。

小学校へのつながりの例

- ・ 感性を働かせ、表現することを楽しむ。このことは、音楽や造形、身体等による表現の基礎となるだけでなく、自分の気持ちや考えを一番適切に表現する方法を選ぶなど、学校以降の学習全般の素地になる。

「1年生はゼロからのスタートではない」ことを念頭に、今までの育ちや学びを引き出しながら、主体的に自己を発揮できるような声かけや発想で指導にあたり、スムーズに小学校生活に適應していけるように取り組んでいきます。また、このスタートカリキュラムは、各園、各施設とも連携し、児童の発達や学びの状況に関する情報や支援の方法を共有したり、年長児が興味・関心を示す遊びや歌などを取り入れたりする等、幼児期の教育の成果をカリキュラムに生かすことができるよう改善を図っていきます。

◆ 「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」10の項目と学校の教育目標の関係の例

学校の教育目標



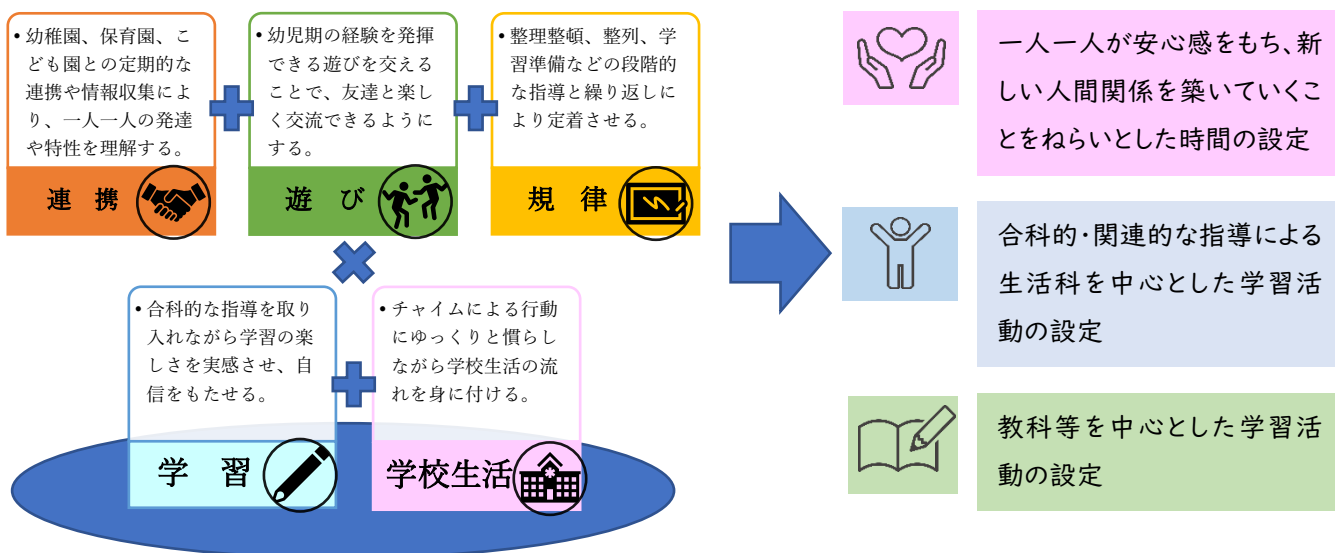
【設定のねらい②に関わって】

「合科的な指導」とは、各教科の指導をより効果的に実現するための指導方法の一つで、単元または1コマの時間の中で、複数の教科の目標や内容を組み合わせて学習を展開するものです。生活科を中心とした単元の学習活動において、複数の教科の目標や内容を組み合わせて学習活動を展開することで、指導の効果を高めます。「関連的な指導」とは、教科別に指導するにあたって、各教科の指導内容の関連を検討し、指導の時期や方法などについて相互の関連を考慮して指導するものです。生活科の学習成果を他教科の学習に生かしたり、他教科の学習の成果を生活科の学習の成果に生かしたりしていきます。

生活科の学習活動を中核として、国語科、音楽科、図画工作科などの内容を合科的に扱うことで、ゆったりと活動できる時間を確保したり、幼稚園や保育所の学びの形態を踏まえた15分間の活動を構成することで安心して学習に取り組めるようにしたりなど、カリキュラム・マネジメントに努めていきます。

江別第二小スタートカリキュラムのイメージ

学習・学校生活 + 連携・遊び・規律



3つの観点をカリキュラムに

江別第二小スタートカリキュラムのねらいと具体

上記を踏まえ、スタートカリキュラムのねらいを設定し、ねらいの達成のために取り組んでいきます。

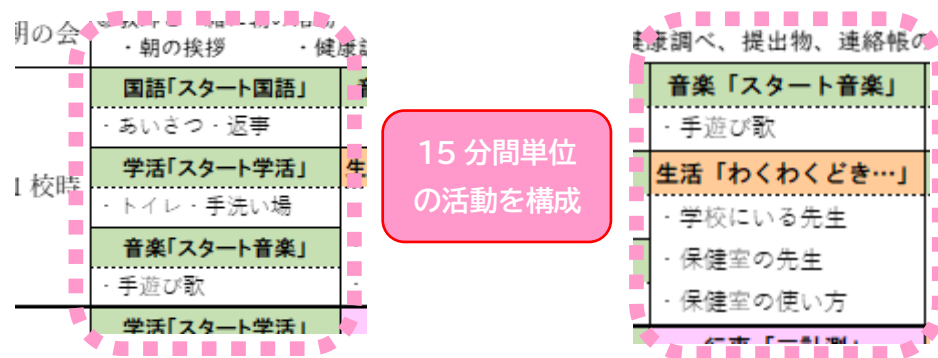
<ねらい>

- ❖ **安心**して**学校生活**を送ることができるようにする
- ❖ **意欲的**に**学習**に取り組むことができるようにする
- ❖ みんなと**楽しみ**ながら**関わる**ことができるようにする

❖ 安心して学校生活を送ることができるようにするために

活動内容に応じて、15 分間単位の活動を構成することで、児童の実態や幼稚園や保育所の学びの形態を踏まえた安心できる学習時間を設定していきます。45 分間の中で国語科、算数科、音楽科等の複数教科や内容を行うことで、入学当初の児童も集中して活動に取り組むことができます。

【15 分間単位の活動を構成した時間割の例】



また、児童の実態を踏まえ、人間関係が豊かに広がること、学習のきっかけが生まれることなどを大切に、以下のような児童が安心して自分の力で学校生活を送るための環境を整えていきます。

◆ 安心して自己を発揮できる環境にするために

- ①見通しをもって生活できるようにしていきます。
例) 一日の時間の流れ、朝の支度の手順、当番などの役割分担の掲示など
- ②生活上のきまり等を視覚的に理解できるようにしていきます。
例) 整理整頓や物がまえ・心がまえの掲示など
- ③児童の実態に応じて、自分で選択して活動できるようにする方法も活用していきます。
例) 教室内の読書コーナーの設置、クールダウンの場を用意など

◆ 主体的に学びに向かうことができる環境にするために

- ①学習形態を工夫し、協働的に学べるようにしていきます。
例) 机を寄せてペアで、椅子を寄せ合ってグループで、床を使って、その場でロールプレイなど
- ②学習に集中できるようにしていきます。
例) すっきり整理された教室前面、視覚的に訴える板書の工夫、子どもが活用しやすい黒板前など
- ③学習のきっかけが生まれるようにしていきます。
例) 学びの足跡の掲示、意欲を高める ICT、学習に活用できる資料の常設など

◆ 安心を生み成長を支える人的な環境にするために

- ①担任だけのかかわりにならないように全職員で関わっていきます。
例) 一緒に活動を楽しむ、様子を温かく見守る、目線を合わせて話を聞く、笑顔で迎えるなど
- ②他学年とのかかわりも大切にしていきます。
例) 6 年生との関り、1 年生を迎える会、その他の学年との関り
- ③家庭や地域の人々とのかかわりも意識させていきます。
例) 安全を見守る地域ボランティアの人々、PTA の人達など

◆ 体験をきっかけに

体験をきっかけにして、各教科等につなげていきます。具体的な活動や体験を通して、見つけたり、遊んだり、不思議だなと感じたり、やってみたいなど思ったりしたことが、子ども達の「話したい」「伝えたい」につながり、学習活動への動機付けにもつながります。

◆ 思いや願いを生かした学習活動

思いや願いを生かした学習活動を心がけていきます。生活の中で見つけた疑問を解決したり、思いや願いを実現したりすることで、子ども達は学ぶことへの意欲を高めていきます。日頃から、目標の設定と振り返りのサイクルや子どものつぶやきを大切にし、子どもの意識の流れを学習に生かしていきます。

◆ 生活上必要な習慣や技能の習得

生活上必要な習慣や技能は、思いや願いを実現するためにも大切なものです。身に付けることができるようにねばり強く指導していきます。ただ、それだけに特化して指導すると、意欲が低下したり、苦手意識をもったりすることがあります。例えば、学校を探検する学習活動で、学校の公共性に目を向けることで、決まりやマナーが大切なことに気付けるようにするなど、児童の思いや願いを基に指導を展開していくように心がけていきます。

❖ みんなと楽しみながら関わることをできるようにするために

教師や友達との関わりの他に、6年生との交流も位置付けています。1年生は6年生を頼るとともに、主体的に活動する姿から学ぶことで、学校生活での関りの喜びを感じることができます。

また、遊びや交流を取り入れた活動をする中に対話の機会を多く設けていきます。みんなと楽しみながら関わることで、研究主題「なりたい自分に向かって主体的に学び合う児童の育成」に向けた「伝え合い活動」の準備もしていきます。

◆ 6年生との交流

入学当初の登校、準備に関しては、最高学年として6年生が手伝いをします。6年生には、“1年生が一人でもできるようになるまで”という目標を意識させながら、持ち物の整理や学校生活のルール等について教えてもらいます。関わりが生まれることで、6年生の中には1年生の様子が気にかかり、休み時間などに手をかけすぎること予想されますが、「休み時間の上手な過ごし方」を1年生に伝えるよう指導することで、1年生の自立を促していきます。

◆ 話し合いの学習形態

考えを広げたり、深めたりする力を伸ばす対話への準備期間として、遊びや交流の中にも目的や場面に応じた話し合い活動の形態を意識して設定することで関わる力を育んでいきます。

	 ペア	 グループ	 全体
長所	・発言の機会が多い。 ・気軽に話しやすい。 ・短時間で話し合える。 ・自分の考えに自信がもてる。	・発言の機会が比較的多い。 ・意見の集約がしやすい。 ・司会や記録の分担をし、経験を積むことができる。	・多くの意見が聞ける。 ・話し合いに教師が入りやすく進行がスムーズになる。 ・結論がまとめやすい。 ・教師による評価がしやすい。
短所	・意見が深まりにくい。 ・教師による評価がしにくい。	・リーダーの有無により、話し合いの内容や結果に差が生じる。 ・話し合いのスキルを高める必要がある。	・緊張感があり発言しにくい。 ・発言が一部の子に限られる可能性がある。

江別第二小スタートカリキュラム

1年生の担任は、暦や児童の実態に合わせて日程を調整してください。また、次年度への引継ぎと改善のため、初めの2週間の取組を記録してください。

◆ スタートカリキュラム 第1 週目

ねらい

- 小学校の生活環境になじみ、安心して楽しく生活する。
- 朝の準備の仕方を知り、自分で取り組もうとする。
- 交通のルールを守り、安全に登下校する。
- 教師や友達の名前を知り、あいさつをしたり、言葉をかわしたりする。

生活の視点

じぶん

なかま

まなび

- 教師や友達について知り、親しみをもつ。
- 今までの経験をもとに、新しいことにも興味・関心をもつ。
- 小学校での新しい生活に楽しみや期待をもってかかわろうとする。
- 新しい友達がいっぱいいることを知る。
- 同じクラスの子とも達と積極的に話し、友達になろうとする。
- 学校生活に必要なさまざまなことを知り、楽しい学校生活をスタートさせる。
- 学校生活で新たに学ぶことや、初めて知ることに対して、喜びを感じ、楽しんで取り組もうとする。

□この週は、活動内容に応じて15分間単位の活動を構成して学習します。

□これまで取り組んできた学びの内容を共有し、小学校の教育課程に生かしていきます。

	入学後1日目	入学後2日目	入学後3日目	入学後4日目	入学後5日目
	4 / ()	4 / ()	4 / ()	4 / ()	4 / ()
朝	・登校したら、席についてお絵かき、読書、折り紙等をする ・机の上を片付けてトイレに行く ・提出物を出し、ランドセルの中のを机に入れる ※6年生による準備の手伝い、読み聞かせ等				
朝の会	◎教師と一緒に朝の活動 ・朝の挨拶 ・健康調べ、提出物、連絡帳の確認				
1校時	国語「スタート国語」	音楽「スタート音楽」	音楽「スタート音楽」	国語「スタート国語」	音楽「音楽ランド」
	・あいさつ・返事	・手遊び歌	・手遊び歌	・机上	
	学活「スタート学活」	生活「わくわくどき…」	国語「スタート国語」	・筆入れの中	・手遊び歌
	・トイレ・手洗い場	・学校にいる先生	・座る姿勢	・初めての名前	・校歌・
2校時	音楽「スタート音楽」	・保健室の先生	・話の聞き方	国語「おはなしたの…」	・ちょうちょうほか
	・手遊び歌	・保健室の使い方	・鉛筆の持ち方	・読み聞かせ	
	学活「スタート学活」	行事「二計測」	生活「わくわくどき…」	図工「スタート図工」	国語「スタート国語」
	・ロッカー・道具		・学校の使い方	・クレヨンを使って	
3校時	学活「スタート学活」		・職員室の先生	・提出の仕方	・学習規律の確認
	・靴・机・ファイル		・職員室の使い方	・後片付けの仕方	
	国語「おはなしたの…」			生活「わくわくどき…」	
	・読み聞かせ			・休み時間の過ごし方	
中休み	◆トイレタイム	◆トイレタイム	あそび◆トイレタイム	あそび◆トイレタイム	あそび◆トイレタイム
3校時	学活「スタート学活」	国語「おはなしたの…」	体育「スタート体育」	学活「楽しい学校」	算数「くらべたこと…」
	・靴箱の場所、使い方	・読み聞かせ	・整列、体育座り	・学校生活の振り返り	・かずあそびP1～2
	・帰り支度の仕方	学活「スタート学活」	・おにあそび	・自己紹介	
	・下校グループの確認	・帰り支度の仕方	廊下の歩き方		
	◆下校指導	◆下校指導	◆下校指導	◆下校指導	◆下校指導

1 日目 トイレタイムを多めに取ります。

朝		・朝の準備メニューの用意 ・上着かけ、カバンの入れ方の確認 ・準備の後の過ごし方確認 ・提出物・連絡帳の確認・検温表確認	◇6年生に手伝いを依頼。 ◇1年生の世話をしてもらおうと、その間に連絡帳に目を通すことができる。 ◇出欠確認、健康観察を兼ねて。 ◇毎朝、同じことを繰り返し、生活のリズムを掴ませる。※声の出せない子の確認と支援。「一緒に言ってみようね。」
1校時	 : 0 0	○スタート国語 ・あいさつ・返事の仕方 ・連絡帳の指導(毎朝全員提出)	◇初日の1校時に連絡帳の扱いについて指導する。確認に時間がかかるので、どのように提出するか決めておく。 例)記述があれば付箋を付けて開いて提出、なければ付箋をせずに閉じて提出など。
	 : 1 5	○スタート学活 ・トイレの使い方 ・手洗い場の使い方 ◆トイレタイム	◇男女分けて現地指導。養護教諭に応援を仰ぐ。 ※トイレでのコツの指導。 「和式は前の方にしゃがむ」「小便器は前へ立つ」 「失敗したら先生を呼ぶ」
	 : 3 0	○スタート音楽 ・手遊び歌 ・ミニゲーム(じゃんけんゲーム) ◆トイレタイム	◇幼児教育で親しんだ遊び方等でリラックス。 ※じゃんけんを理解していない子をチェック。
2校時	 : 0 0	○スタート学活 ・ロッカーの使い方 ・道具ぶくろの中身確認 ◆トイレタイム	◇道具の置き場所を確認。 ◇保護者が持ってきた物の確認と記名確認。
	 : 1 5	・靴箱の使い方 ・カバンの中の出し入れ ・机の中の整頓 ・ファイル(連絡袋)の使い方 ・配付物の折り方 ◆トイレタイム	◇指導の後も、間違う子はたびたび繰り返すので、数日間下校後にチェック。 ※位置が高くて手の届かない子への配慮。
	 : 3 0	○スタート国語 ・読み聞かせ ・NHK for School「お話の国」	◇幼児教育で親しんだお話等でリラックス。 ※聞く姿勢を保持できるかをチェック。 教科書、ノートをチェックする。
大休み		◆トイレタイムと学級での時間 ※下校場所の変更と担当者への報告	◇6年生に手伝いを依頼。 ◇1年生の世話をしてもらおうと、その間に下校場所の変更とトイレの様子を見ることができる。 教室はNHK for Schoolとぬり絵(R5)
3校時	 : 0 0	○スタート学活 ・靴箱の場所・使い方の指導	◇靴の置き場所と上下段の使い分けを確認。 ◇指導の後も、間違う子はたびたび繰り返すので、数日間下校後にチェック。
	 : 1 5	○スタート学活 ・下校指導 ・帰りの身支度 ・下校コースの確認 ・児童館へ行く児童の確認 ・集合場所に移動 ・点呼、下校	◇カバンに物をしまふ。机の中空っぽ作戦。 ◇トイレに行って、上着を身に付けさせる。 ※雨天時の身支度には余裕をもって。 ◇コース別名簿の準備。※体育館の確保 ◇各コース担当者との事前打ち合わせ。 ◇不都合があったときには、適時対応。 体育館集合→担当者紹介→トイレ→点呼→出発(R5)

次年度のために、この日で気が付いたこと
&(R7)についてご意見ください。

2日目 トイレタイムを多めに取ります。

朝		・あいさつの仕方をサポート ・上着かけ、カバンの入れ方の確認 ・机の中の整理・道具の整理 ・提出物・連絡帳・検温表の確認。 ・出欠確認（健康観察）	◇6年生には、読み聞かせや紙芝居、なぞなぞなど、1年生が席について聞くことができる活動をお願いしたい。 ◇平行して、登校後の様々なこと（カバン・学習道具の整頓・検温表・トイレなど）のサポートもお願いする。
1校時	：00	○スタート音楽 ・手遊び歌・ミニゲーム等 ◆トイレタイム	◇返事の仕方の指導を。一人一人を褒めるチャンス。
	：15	○生活「わくわくどきどきしょうがっこう」 ・学校にいる先生 ・保健室の先生 ・保健室の使い方 ◆トイレタイム	◇一日の始まりを楽しく。園時代に親しんだ遊び方も交えてリラックス。※なかなか声が出ない子の確認。 ◇座り方、話の聞き方の指導をやる気満々のうちに。
2校時	：00	◎行事「二計測」（日時未定）	◇現地指導。事前に依頼し、養護教諭の顔と名前を紹介する。保健室の約束を指導。
大休み		◆トイレタイムと学級での時間 ※下校場所の変更と担当者への報告	◇測定の仕方等は、ほけんだよりを参照のこと。 ◇待ち時間は、NHK for School「お話の国」等を活用して、安心して過ごせる時間の確保と落ち着いて着席して過ごすことができるように指導を。 ◇クラス内の時間差は、教室での活動を指示。「ぬりえ」や「めいろ」など、一人で座ってできるものを。
3校時	：00	○国語「おはなしたのしいな」 ・読み聞かせ ・NHK for School「お話の国」 ◆トイレタイム	◇6年生に手伝いを依頼。 ◇1年生の世話をしてもらうと、その間に下校場所の変更とトイレの様子を見ることができる。
	：15	○スタート学活	
	：30	下校指導 ・帰りの身支度 ・下校コースの確認 ・児童館へ行く児童の確認 ・集合場所、担当教諭の確認 ・集合場所に移動 ◆トイレタイム(色ごと) ・点呼、下校	◇落ち着いて聞くことができるように指導。 ◇カバンに物をしまう。 ◇机の中、空っぽ作戦（忘れ物チェック）。 ◇昨日の下校の仕方について、褒めたり、指導したり。 ◇トイレに行ってから身支度を。 ◇トイレに行って、上着を身に付けさせる。 ※雨天時の身支度には余裕をもって。
			◇コース別名簿の準備。 ◇各コース担当者との事前打ち合わせ。 ◇不都合があったときには、適時対応。

次年度のために、この日で気が付いたこと & ■(R7反省)についてご意見ください。

3日目 トイレタイムを多めに取ります。

下校準備の時間を徐々に短くしていきます。

朝		・あいさつの仕方をサポート ・上着かけ、カバンの入れ方の確認 ・机の中の整理。道具の整理 ・提出物・連絡帳・検温表の確認 ・出欠確認（健康観察）	◇6年生には、読み聞かせや紙芝居、なぞなぞなど、1年生が席について聞くことができる活動をお願いしたい。 ◇平行して、登校後の様々なこと（カバン・学習道具の整頓・検温表・トイレなど）のサポートもお願いする。
1校時	: 0 0 : 1 5 	○スタート音楽 ・手遊び歌・ミニゲーム ◆トイレタイム	◇長子の保護者は、不安がいっぱい。連絡帳のチェックは、毎日欠かさずに。 ◇慣れてきた子が、6年生を困らせることも。ダメなことはダメと教えたい。
	: 3 0 	○スタート学習 ・座るときの姿勢 ・机上の物の位置 ・筆箱の中身 ・鉛筆の持ち方～線を書く ◆トイレタイム	◇座り方、話の聞き方、鉛筆の持ち方を指導。 ◇合言葉「足ピッタン、背中はピン、おなかと背中にグー一個。鉛筆持つ手は天使の輪！」
2校時	: 0 0 	○生活「わくわくどきどきしょうがっこう」 ・学校のきまり ・職員室の先生、場所 ◆トイレタイム	◇正しく鉛筆を持ち、簡単な迷路などに楽しく挑戦。正しい持ち方「天使の輪」 ※左利きのチェック。 ◇使った鉛筆は、削ってくることの指導。消しゴムの使い方。 ※記名チェック。
大休み		○あそび ※下校場所の変更と担当者への報告	◇現地指導。職員室の約束を指導。校長・教頭・担外など日常的にお世話になる先生方の顔と名前を一致させる。
3校時	: 0 0 	○スタート体育 ・廊下の歩き方 ・整列の仕方、体育座り ・おにあそび	◇6年生に遊びと体育の準備の手伝いを依頼。 ◇その間に下校先の変更を。
	: 3 0 	下校指導 ・帰りの身支度 ・下校コースの確認 ・児童館へ行く児童の確認 ・集合場所、担当教諭の確認	◇「話さずに、前を見て、右側を歩きましょう。」
		◆トイレタイム ・集合場所に移動 ・点呼、下校	◇体育館の確保。 ◇体育館の場所を知る。整列の仕方は、座席順に起立等の工夫を。 ※なかなか自分の場所を覚えられない子のチェック。 ◇自信をなくさぬよう、声かけ。「○○さんの隣だよ。」 ◇幼児教育で親しんだあそびを生かして。
			◇配付物のしまい方の確認。カバンに物をしまう。 ◇机の中、空っぽ作戦。
			◇コース別名簿の準備。 ◇各コース担当者との事前打ち合わせ。 ◇不都合があったときには、適時対応。

次年度のために、この日で気が付いたこと & ■(R7反省)についてご意見ください。

4日目 トイレタイムを多めに取ります。

下校準備の時間を徐々に短くしていきます。

朝		・あいさつの仕方をサポート。 ・上着かけ、カバンの入れ方の確認。 ・机の中の整理。道具の整理。 ・提出物・連絡帳・検温表の確認。 ・出欠確認（健康観察）
1校時	: 0 0	○スタート国語
	: 1 5	・学習用具の出し方、しまい方 ・教科書、ノートの置き方 ・鉛筆の持ち方 ・座るときの姿勢 ・名前を書いてみよう
	: 3 0	 ◆トイレタイム
2校時	: 0 0	○スタート図工
	: 1 5	・クレヨンの使い方 ・後片付けの仕方 ・描いた絵の提出の仕方 ・余った時間の使い方
	: 3 0	 ◆トイレタイム
大休み		○あそび ◆トイレタイム
3校時	: 0 0	○スタート学活
	: 3 0	 ・学校生活の振り返り ・自己紹介 ◆トイレタイム
		 - 下校指導 ・帰りの身支度 ・下校コースの確認 ・児童館へ行く児童の確認 ◆トイレタイム ・集合場所に移動 ・点呼、下校

◇そろそろ6年生の手伝いがなくとも登校後の様々なことができるように。
◇しかし6年生には、読み聞かせ、紙芝居、ミニゲームなどの活動を継続してほしい。

◇教科書とノートの確認。
※記名チェック
◇教科書とノートの区別がつくように。
◇そろそろ教科書やノートを使いたがるころ。「出したりしまったりがみんな上手になったら使います。」

◇座り方、話の聞き方、鉛筆の持ち方を繰り返し指導。◇右利きはノートが右。◇左利きはノートが左。
◇合言葉「足ピッタン、背中はピン、おなかと背中にグー一個。鉛筆持つ手は天使の輪！」

◇「初めて書いた名前」として活用。

◇落ち着いて聞くことができるように指導。

※クレヨンの記名チェック
◇クレヨンの使い方指導。使ったクレヨンは、必ず箱に戻す。
◇「自分の顔」「好きな物」などを描く。参観日の掲示や国語や生活科での自己紹介に活用する。
※描きたがらない子のサポート。
「一緒に描こうか。」「途中で描かせてね。」
※作業時間の差を埋める準備。
早く描き上げた子に「自由帳に鉛筆で絵を描いてもいいよ。」ぬり絵を用意して色鉛筆で塗ってもいいよ。」など

◇他の教室や廊下の使い方、チャイム席、廊下歩行、その他のきまりを指導。

◇初めての自分たちでの大休み遊び。一人で座っているなど、時間の過ごし方をチェック。
※遊べない子のサポート。

◇「楽しく学校に来られているか」「不安はないか」を確認。
◇自己紹介で友だちを意識させる。

◇配付物のしまい方の確認。カバンに物をしまおう。
◇机の中、空っぽ作戦。

◇4日目から引率しない。児童玄関前に色ごとに整列して下校。
◇不都合があったときには、適時対応。

次年度のために、この日で気が付いたこと
& ■(R7反省)についてご意見ください。

5日目 トイレタイムを少し長めに取ります。

下校準備の時間を徐々に短くしていきます。

朝		・あいさつの仕方をサポート。 ・上着かけ、カバンの入れ方の確認。 ・机の中の整理。道具の整理。 ・提出物・連絡帳・検温表の確認・出欠確認（健康観察）	◇そろそろ6年生の手伝いがなくとも登校後の様々なことができるように。 ◇しかし6年生には、読み聞かせ、紙芝居、ミニゲームなどの活動を継続してほしい。
1校時	: 0 0	○音楽「音楽ランド」 授業の始まりの姿勢大切に ・校歌・君が代 ・ちょうちょうほか ・手遊び歌 ・ミニゲーム ◆トイレタイム	◇合言葉「足ビッタン、背中はピン、おなかと背中にグー一個。（鉛筆持つ手は天使の輪!）」 ◇演奏を聞きながらみんなと一緒に歌う。 ◇歌を楽しむことを前面に。幼児教育で歌ってきた歌やゲームも取り入れる。 ※歌いたがらない子。恥ずかしがる子のサポートゲームは、ルールやきまりを守ることを徹底する。
2校時	: 0 0	◎行事「交通安全教室」（日時未定） 低学年…学校周辺 1) 始めの挨拶 2) 交通指導員の方の紹介 3) 交通指導員の方による実地訓練 4) 交通指導員の方からのお話 5) 児童の感想、お礼の言葉など 6) 終わりの挨拶	◇交通安全教室の意義や、大まかな内容について、児童に知らせておく。 ◇話の聞き方、実地指導の際の注意などを各学級でしておく。 ◇各学級1名担任又は支援員さんを配置する。 ◇感想を発表する児童を事前に決めておく。 ◇寒いので実地訓練終了後、終わった順に教室へ。 ◇一人で座っているなど、時間の過ごし方をチェック。 ※遊べない子のサポート。
大休み		○あそび ◆トイレタイム	
3校時	: 0 0	○算数「くらべたことがあるかな、おいしいのはどちらかな」	◇教科書、ノートの置き方を確認してからすすめる。姿勢の合言葉も使いながら落ち着いて学習をスタートさせたい。意見交換の場では、話し合いの学習形態を工夫しながら、話し合いの様子を把握したい。
	: 3 0	下校指導 ・帰りの身支度 ・下校コースの確認 ・児童館へ行く児童の確認 ・集合場所、担当教諭の確認	◇配付物のしまい方の確認。カバンに物をしまう。 ◇机の中、空っぽ作戦。 ◇通信に次週の学習予定が書いてあることを教えたい。
		◆下校指導 ・配付物 ・帰りの身支度	◇不都合があったときには、適時対応。

■交通安全教室のあとの算数は厳しいと思い(週末でぐったり)1校時目に行った。下校の支度や行動が少しずつ早くなっていった。

次年度のために、この日で気が付いたこと & ■(R7反省)についてご意見ください。

◆ スタートカリキュラム 第 2～3 週 ※R6 年度より給食開始を 2 週目から 3 週目に変更。

ねらい

- 学校での生活の仕方を知り、自分のことは自分でしようとする。
- 授業中は、自分の席に座り、教師や友達の話をしっかり聞く。
- 学習の流れを知り、学習への意欲をもつ。
- みんなで楽しく給食を食べることができる。

生活の視点

じぶん

- 新しい生活に楽しみや期待をもち、さまざまな人やものにかかわろうとする。

なかま

- 自分の思いや考えを、はっきりと相手に伝えるように自分の言葉で伝える。

まなび

- 集団生活の中で、周りの状況を理解しながら、自分で考えて行動する。

- クラスの友達の良いところを見つけ、親しみをもつ。

- クラスの友達と遊びや生活をともにする中でかかわりを広げる。

- 授業中は、教師や友達の話をしっかり聞く。

- 教材や道具に親しみ、積極的に学習に取り組む。

- 正しいえんぴつの持ち方や文字の書き方、正しい発声の仕方を身に付ける。

- 簡単なひらがなや数字遊びを通して楽しく学ぶ。

☐ この週から教育課程に基づいた学習が始まります。

☐ 引き続き、幼稚園や保育所で取り組んできた学びの内容を教育課程に生かしていきます。

☐ 給食の時間の活動をスムーズに行えるように定着を図ります。

☐ トイレタイムを決まった時間に取ります。

☐ 下校指導が終わり、自分で下校します。

☐ 学年部会などで生活上の約束やルール(給食、そうじなど)を統一します。

☐ 「給食の感想」を初めとして、実態に応じて宿題を始めます。(← ↓ R5 は 3 週目スタート)

☐ 宿題開始とあわせて、「早寝、早起き、朝ごはん」等、生活リズムを整える呼びかけをします。

☐ 学校で教えていること(えんぴつの持ち方など)を保護者にも伝え、家庭と一緒に身に付けさせていきます。

国語	・ ひらがなの練習	◇ ひらがなの練習と教科書の内容の学習を45分間で区切って指導。
書写	・ 「いいてんき」「おはなしたのしいな」 「あつまってはなそう」「えんぴつとなかよし」	◇ まだまだ45分間の学習はきつい。
算数	・ 算数ブロックの使い方、置き方「オリエンテーション」	◇ 算数ブロックで遊びながら、箱の中の物を把握させます。
	・ 「くらべたことがあるかな」「おいしいのはどちらかな」 「なかまづくりとかず」	◇ 出し入れのルール、置き場所など、丁寧に教えたい。
生活	・ 「あ、あれ、わくわくがいっぱい」 「せいかつかがはじまるよ」	◇ 友達づくりを中心にするなど、緊張をとること、クラスの仲間や学校の中で会う人の顔を覚える活動を。
音楽	・ 「どんなうたがあるかな」	◇ 「1年生を迎える会」の準備もできる。
	・ 校歌	
体育	・ 「体づくりの運動遊び」	◇ 運動会を見通した指導を。
	・ 整列の仕方、廊下の歩き方	◇ 体育座りができない体格の子をチェック。
	・ 体育座り	
行事	・ 視力・聴力	◇ クラス内で時間差で行う場合、教室での活動を指示。「ぬりえ」や「めいろ」など、一人で座ってできるものを。
給食 (3週目～)	・ 給食の話	◇ 栄養教諭に協力を依頼する。
	・ 机上の準備	◇ 担外に応援を頼み、初日の配膳は教師で行う。
	・ 手洗いの仕方	◇ 机上の準備→手洗い→(エプロン・三角巾)→着席の順を確認
	・ エプロン、三角巾の付け方	◇ 受け取る側のルールを決め、ゆっくりやってみる。
	・ 配膳	◇ 磁器食器の扱いのレクチャーをする。
	・ 食事のマナー	※ 事前にアレルギーの確認。
	・ 片付けのルール	◇ アレルギーのある児童への声かけ「○○は食べられないから我慢してね。」
下校指導	・ 方面別下校	◇ こぼしてしまったときの対応。「熱くなかった？」 「一緒に片付けようね。」
	・ 児童館へ行く児童の指導	※ 好き嫌いチェック。遅い子のチェック。

※「 」は、単元名または題材名。

◇ きちんと家に帰ることの声をかけを。
◇ 「友達の家へ行ってはいけません。家に帰って、カバンを置いてから遊びに行くのです。」

◇ 初めての宿題「一番おいしかった今日の給食のことを家の人に話すこと。」

MEMO(次年度のために、気が付いたこと)

◆ スタートカリキュラム 第 4 週

ねらい

- 友達と協力してさまざまな活動に取り組む。
- 一人一人が自分の役割を理解し、責任をもって行動する。
- 学習環境を整えて、スムーズに勉強できるようにする。
- 当番（日直、給食）の仕方を知り、仕事をやりきる心地良さを感じる。

生活の視点

じぶん

- 遊びを通して、友達とのかかわりを広げ、良いところを見つけようとする。
- 新しい生活に楽しみや期待をもち、さまざまな人やものにかかわろうとする。
- 身の回りのことや給食の準備、後片づけなどを自分で考えて行動する。

なかま

まなび

- 学校のルールを理解し、守りながら楽しく過ごす。
- 教師や友達の話の正しい姿勢で、しっかりと聞く。
- 友達に話を聞いてもらえる安心感を覚え、親しみをもって行動する。
- 給食の準備やそうじなどで、友達と声をかけあったりしながらスムーズにできるようにする。
- これまでの生活や遊びの経験を小学校の学習に生かしながら積極的に学ぼうとする。
- 学習する姿勢を身に付け、正しい姿勢で授業を受ける。
- 声を出すことによって、正しい言葉づかいや文字を覚える。

□ 休み時間に、友達と関わりがもてない子への働きかけをします。

□ 下校時の声かけを継続します。

□ 学年部会などで生活上の約束やルール(給食、そうじ、トイレなど)を確認します。

□ 実態に応じて家庭学習についても学年で確認をします。(連休明けからでも可。)

□ 学校での様子、学校で教えていることをお便り等で保護者に伝え、家庭と一緒に身に付けさせていきます。

国語	・ひらがなの練習 ・ノートを使い方 ・「どうぞよろしく」「なんていおうかな」「こんなものみつけたよ」	◇ひらがなの練習と教科書の内容の学習を、45分間の中で区切って指導。 ◇まだまだ45分間の学習はきついです。 ◇ノートのページをとばさない指導を。
書写	・「ひらがなのがくしゅう」 ・「えんぴつのもちかた/てのうごかしかた」	◇教科書、ノート、算数ブロック…机の上は物でいっぱい。個別に声をかけて、ものの置き方の指導を。 ◇教科書左、ノート右、筆記用具右上。筆入れは机の中へ。
算数	・ノートを使い方 ・「なかまづくりとかず」	
生活	・「わくわくどきどきしょうがっこう」	◇地域の方や交通指導員の方の存在など、通学路の様子を知らせたい。 ◇学校探検に向かう活動を。
音楽	・「ゴーアンドストップ」 ・校歌	◇「1年生を迎える会」の準備としての取組もできる。
図工	・「かきたいものなあに」	◇運動会を見通した指導を。「かけっこ」など、まっすぐに走る練習も入れていきたい。
体育	・「体づくりの運動遊び」 ・整列の仕方、廊下の歩き方	◇学校生活の楽しさについて考えさせ、先生や上級生、友達に親しみ、学校生活を楽しもうとする心情を育てる。
道徳	・「がっこうだいすき」	 
行事	・1年生を迎える会	◇上級生へのあこがれと感謝を感じられる会にする。 ◇1か月の成長を実感し、学校生活への希望をもつ。
給食	・当番活動へのスモールステップ	
下校指導	・方面別下校 ・児童館へ行く児童の指導	◇「牛乳を配る」「スプーンを配る」などから始める。当番とはいえ、少人数から。

※「 」は、単元名または題材名。

◇帰宅後についての声かけを。

「自転車はおうちの人がよいと言うまで乗れません。」

「おうちの人がないおうちに入って遊んではいけません。」

MEMO(次年度のために、気が付いたこと)

ねらい

- 時間割をもとに学習活動の流れをつかんで行動する。
- 学習に対する意欲をもって学びを楽しむ。
- 集団生活を送る上でのきまりを姿勢を身に付ける。

生活の視点

じぶん

- 自分の意見や考えをもつとともに相手の意見を尊重する。
- 自分がこれまで経験してきたことを生かしたり、自分の得意なものを見つけたりするなかで、なりたい自分を意識する。

なかま

まなび

- 生活科を中心とした学習活動の中で、自然を観察し、生命の大切さを実感する。
- 授業のルールを学校生活のルールを身に付ける。
- 授業時間と休み時間のけじめをつける。
- 周りの状況に応じて、相手に伝わるように声の大きさを調整する。
- 相手の意見を尊重しながら協同性をもって、学習活動や遊びを楽しむ。
- 給食の準備などを、友達と声をかけあってスムーズにできるようにする。
- ノートや筆記用具などの学習用具の正しい使い方を身に付ける。
- ノートを活用して、文字や言葉を正しく書き写すことを身に付ける。
- 決められた時間、そのことに集中して取り組む。
- 宿題を通して、学習することの楽しさを感じながら、家庭学習の習慣を身に付ける。

- ☐ 休み時間に、友達と関わりがもてない子への働きかけをします。
- ☐ 下校時の声かけを継続します。
- ☐ 学習への意欲がもてない子への働きかけをします。
- ☐ 連休明けに学習規律や生活上の約束やルールをもう一度確認します。
- ☐ 連休明けから家庭学習の取り組みを始めます。
- ☐ 引き続き、学校での様子をお便り等で保護者に伝えていきます。
- ☐ 授業のルール(手を挙げて発表する、「ハイ」と返事をする、イスに正しく座る)など。
- ☐ 学校生活のルール(チャイム席、廊下歩行)など。
- ☐ 授業時間と休み時間のけじめをつけ、休み時間は友達と楽しんで遊ぶようはたらきかけます。

国語	・ひらがなの練習 ・ノートを使い方 ・「こえにだしてよもう」	◇ひらがなの練習と教科書の内容の学習を、45分間の中で区切って指導。 ◇ノートのページをとばさない指導を。
書写	・「ひらがながくしゅう」 「えんぴつのもちかた/てのうごかしかた」	◇座り方、話の聞き方、鉛筆の持ち方を繰り返して指導。 ◇合い言葉「足はベッタン、背中はピン、おなかと背中にグー1個。紙を押さえてさあ書こう。」
算数	・ノートを使い方 ・「なかまづくりとかず」	◇学校探検に出発！ ◇学校全体にお知らせして、協力を仰ぐなど、みなさんに見守られながら、楽しい活動を。 「廊下は忍者で歩いてね。」「困ったときはもどってきてね。」 ◇見つけたこと発表は、言葉や簡単な絵で。
生活	・「わくわくどきどきしょうがっこう」	
音楽	・「かもつれっしや」 ・校歌	◇運動会に向けて校歌を歌えるようにしておきたい。
図工	・「すきなかたちやいろなあに」	
体育	・「走・跳の運動遊び」 ・様々な並び方	◇運動会の練習と平行して。 ◇運動会の並び方や背の順、列など、繰り返し並ぶ練習をしたい。
道徳	・「きもちよいせいかつ」	◇気持ちのよい毎日を過ごすために大切なことについて考えさせ、日常を振り返るきっかけにもする。
学活	・本を読もう	◇図書館指導の時間を生かして、図書館を利用して読書に親しむことができるようにする。 ◇絵本を読み聞かせるだけでなく、紹介したり、読みたい本をさがしてみたりするような機会も設ける。
行事	・避難訓練 ・心臓検診	
給食	・当番活動へのスモールステップ	
下校指導	・方面別下校 ・児童館へ行く児童の指導	◇慣れてきた頃なので、登下校の様子をチェック。 ◇よその庭を通っていないか、信号を守っているか、歩道橋の渡り方かどうか、通学路を守っているか、遊びながら帰っていないかなど。

※「 」は、単元名または題材名。

MEMO(次年度のために、気が付いたこと)

幼稚園、保育所、認定こども園の皆様へ

江別市立江別第二小学校とは

学校の教育目標・めざす児童像

○ 自ら学び、考え、表現する児童の育成	【知】	よく考えて学習する子 ＜かしこく＞
○ 優しい心を持ち美しいものに感動する児童の育成	【情】	親切で思いやりのある子 ＜やさしく＞
○ 自らの意思で、忍耐強く行動する児童の育成	【意】	ねばり強くやりぬく子 ＜しぶとく＞
○ 丈夫な身体と強い体力をもった児童の育成	【体】	健康で明るい子 ＜たくましく＞

【学校の教育目標について】

子ども達に確かな学力を身に付けさせることは、学校の大きな役割です。基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得をベースとしながら、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力を育むとともに、主体的に学習に取り組む態度を養うことが重要です。学習の基盤をつくる活動を充実させるとともに、指導内容や指導方法等を工夫することで学ぶことの楽しさや成就感を体得させ、「よく考えて学習する子」の育成を目指します。

子ども達は、限られた集団でコミュニケーションをとる傾向が見られ、またコミュニケーションをとっているつもりが、実際は自分の思いを一方的に伝えているに過ぎない場合が多いことがあります。人間関係づくりの難しさが不登校やいじめなどの原因となることもあります。教育活動全体を通して、コミュニケーション能力を身に付け、人間関係づくりができる「親切で思いやりのある子」の育成を目指します。

これからの社会を生き抜く子ども達には、夢や希望を抱き、自ら律しつつ、自己責任を果たす強い意志が必要です。豊かな社会の中で、子ども達は「思い通りにならない経験」をする機会が少なくなってきました。学校生活の中で自分を律する経験や自己有用感を積み重ね、困難にも立ち向かう「ねばり強くやりぬく子」の育成を目指します。

社会生活を送るうえで、健やかな体は活動の源であり、精神面の充実にも大きな役割を果たします。生活様式が変化し多様化する中で、基本的生活習慣、食育、体力の向上、健康・安全教育などについて、児童の実態を踏まえながら指導を進めなければなりません。健康・安全で元気に生活を送るために必要な資質・能力・態度を育成し、調和のとれた「健康な明るい子」の育成を目指します。

「かしこく、やさしく、しぶとく、たくましく」 本校の4つの「めざす児童像」の具現化を図る中で、心身ともに健康で人間性豊かな子どもの育成を図ります。

江別第二中学校区 めざす子ども像

江別第二中学校区の児童生徒が、義務教育9年間を見通した中で、めざす子どもの姿に向かって学校生活に取り組み、小・中学校の教職員が、連携・協働して児童生徒の健やかな成長のために小中一貫教育に取り組んでいます。

総括テーマ

先人の開拓精神に学び、高い理想をもって、たくましく生きる子ども
～子どもの夢やチャレンジ精神をみんなで支えよう～

めざす 15 歳の姿

社会で生きる基礎的な知識や技能を身につけている
15 歳

思いやりの心を持ち、人と協働できる
15 歳

未来を見据え、自ら努力することのできる
15 歳

令和7年度の学校経営

人口減少社会や Society5.0 の到来、グローバル化の進展等、社会情勢の変化や様々な教育課題が日々わたしたちの目に入り、耳に届く状況にある。教育現場においても AI やビッグデータ、Society5.0 という言葉が飛び交い、経済発展と社会的課題の解決を両立させる取組がすすんでいる。また、情報技術の革新や交通網の発達に伴い、いわゆるグローバル化の流れも加速しており、このような状況に対応した行動計画として持続可能な社会づくりに向けた取組（SDGs）も、すでに生活の中に浸透している。

こうした社会では、語彙の理解や文章の構造的な把握、読解力、計算力や数学的な思考力などの基礎的学力や、情報を取捨選択して読み取るなどの情報活用力を習得し、表現力や想像力を発揮しながら新たな価値を創造する力が必要となる。また、言語や文化の違う多様な価値観をもつ人々ともコミュニケーションを図りながら柔軟に対応するとともに、グローバルな視点をもって豊かな地域社会の創造発展に積極的に貢献しようとする力（人材）も求められる。

このような変化の激しい時代において夢や希望をもち、様々な困難を乗り越え、多様な人々と協働しながら持続可能な社会の創り手として成長していくことができるよう、子どもたち一人一人の個性や能力を伸長するための教育を充実することが学校に求められている。

本校の子どもたちは、明るく素直である。保護者や地域の方もあたたかい目で子どもたちを見守っており、学校は穏やかでやさしい雰囲気包まれている。また、人懐っこい子たちが多く、大人と話すのも好きな子が多い。【あいさつ・やさしさ・学び】を合い言葉に、様々な場面において指導を行ってきた成果から、日常的なあいさつや委員会活動にも前向きに取り組もうとする意識が高まり、進展が見られている。学習面では、研究部が中心となって授業改善に取り組み、学習態度もよく、対話を重視しながら個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図ることで意欲をもって学習に望む姿が見られるようになってきた。しかし、まだ指示待ち（受け身）の子どもたちも多く、基礎学力の定着や主体性という点で課題の見られる子もいる。また、各種調査結果等からも、自分の考えをもち筋道を立てて説明することなどに課題があり、授業以外で勉強する時間が短く、ゲームをする時間が長いなどの傾向も見られている。

令和7年度は、学習指導要領の改訂から6年目となる。二中校区の小中一貫教育も4年目を迎える。一人に1台端末が行き渡り、GIGA スクール構想も急速に具現化されている。新型コロナウイルス感染症の5類へ移行から間もなく2年となるが、子どもの命を守る教育活動とともに、教職員の心身の健康

を維持しながら、新たな視点で教育の質の向上を図ることは変わらぬ課題である。大きな変革の中、社会情勢や教育動向に注視し、これからも確実な歩みをすすめていかなければならない。

地域の宝である明るく素直な子どもたちには、生涯にわたって自立して生き抜くため、変化が激しく予測困難な時代の中でも通用する「確かな学力（生きる力）」を身につけることが必要である。そのために学校は、基礎的・基本的な知識および技能を確実に習得させ、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力を育むとともに、主体的に学習に取り組む態度を養い、一人一人の可能性を伸ばしながら個性を活かし、多様な人々との協働（共生）を促す教育の充実を図らなければならない。

目の前にいる子ども一人一人に目を向け、家庭や地域との連携、そして学校のチーム力を高めていくことで、夢や希望にあふれ、健やかに成長する子どもたちを育みたい。

このような考えのもと、令和7年度江別第二小学校の学校経営を次に示す重点目標や具体策をもとに推進していく。

令和7年度の重点目標

「なりたい自分」になるために、自分の思いを語り、 友達の考えを認め、主体的に学ぶ子の育成 ～紡ぐ～

◎「なりたい自分」になるために

人は、目的や目標を自ら考え出すことができる存在であり、また、その達成に向けて知識や技能を駆使しながら主体的に学び、思考・判断していくことによって未来を創り出しよりよい人生を実現していくことができる。そう考えた時「こうなりたい、こうしたい」という目的や目標をしっかりと持つことがとても重要となってくる。今の自分の状況や場面を理解し、「なりたい自分」をしっかりと意識することが、その後の問題解決や目標達成に繋がっていくのである。

「なりたい自分」とは、将来の夢である。また、小学校や中学校の卒業を迎えた段階でのめざす姿であり、学年・学期ごとに目標とする姿でもある。さらに、運動会や学芸発表会でがんばりたいことや、日々の学習・活動の課題ととらえることもできる。身近な授業場面から将来の夢を考える場面までの様々なレベルで目的や目標を意識させることを大切にしていく。

そして、「なりたい自分」と「今の自分」とのギャップ（壁）を正しく理解し、その壁を乗り越えるために必要な努力を積み重ねていくことができる子どもをめざしたい。そのために、目標や目的を意識させる場面を意図的に設定し、壁を乗り越えるために必要な問題解決能力を育む学習活動を取り入れ、子どもの学び・成長を支援していく。

「なりたい自分」になるためには、一人でじっくり考え、自分の思いを語り、友だちと意見を交わしながらいろいろな考えを認め合い、どうすればよいか自己決定し、自分で答えを見つけていくという主体的な学びが必要になる。それを育てるのは対話力。そしてそれは、自分に自信をもち、お互いに認め合える信頼関係がある学級が土台に合ってこそ成り立つ。「どんな意見を言ってもいい」「間違えても大丈夫」「いろいろな意見があって当たり前」、うなずきながら聞く、リアクションする、笑顔で聞く、質問する…あたたかい空気のある教室とともに高め合う子どもを育てていく。

◎「紡ぐ」

本校の子どもたちに関わる全ての人々が手を携えて、「縦糸」と「横糸」を一つずつつなげながら太くしていき、子どもの学びと心を紡いでいくことをめざす。また、子どもたちの抱える課題を解決して

いくため、学校・家庭・地域が目標を共有し、「共育」の視点で協働していく。

縦系・・・学習の系統性、学力保障、小中一貫教育、幼保ことの連携、体力づくり、キャリア教育などの視点

横系・・・協働的な学び、教科横断的な学習、道德教育や特別活動の充実、教職員間の協働性・チームワーク、家庭・地域との連携・情報発信などの視点

保護者・地域、江別第二中学校、幼稚園・保育園・こども園、関係機関等、本校の子どもたちに関わる全ての人が手をつなぎ、心をつなぎながら、子どもたちの育ちを紡いでいくことめざし、キーワードとして「紡ぐ」を設定する。



小学校との連携のお願い

幼稚園教諭・保育士と小学校教諭が情報共有し、それぞれの保育・教育活動を理解し合って、連携による学びの連続性を生み出していくことで、「安心して生活できる」「意欲的に学習に取り組むことができる」「楽しみながら友達と関わるができる」学校にしていきたいと考えています。

本校の様子を参観していただける日程を以下のように設定させていただきました。お忙しい中とは思いますが、時間の許す範囲で参観していただき、ご意見、ご助言等をいただくことで連携・改善の糸口にしていきたいと考えております。

【R7 年度 小学校の様子を参観していただける日】

①	5 月 16 日(金)	参観日①	各教室	13:30~14:15
②	5 月 28 日(水)	運動会総練習	グラウンド	9:25~11:20
③	5 月 31 日(土)	運動会	グラウンド	8:45~12:10
④	6 月 12 日(木)	市内一斉公開日①	各教室	9:00~14:00
⑤	10 月 16 日(木)	市内一斉公開日②	各教室	9:00~14:00
⑥	11 月 12 日(水)	学芸発表会(児童公開日)	体育館	8:35~ (予定)
⑦	11 月 15 日(土)	学芸発表会(一般公開日)	体育館	8:30~ (予定)
⑧	12 月 5 日(金)	参観日②	各教室	13:30~14:15
⑨	2 月 16 日(月)	参観日③	各教室	13:30~14:15

参観の際は、右のような感想用紙を用意させていただきますので、ぜひご意見をいただければと思います。

子ども達が学校生活によりスムーズに適應できるよう、スタートカリキュラムの改善を考えております。それぞれの幼稚園・保育所・認定こども園で大切にしていることや年長児がこれまでに親しんできたあそびや歌、活動などの様子についてお聞きして入学後の指導の参考にしたいと考えています。

小学校訪問		月 日
幼稚園 保育園 こども園 役職・氏名		
1年 組	教科や内容 ()	
【気が付いたこと】 児童の様子、幼児期からの変容、児童への有効な手立て、幼児教育に還元できそうなこと…など感想を！		
【幼児教育の内容とつながりがありそうな項目はありますか？】 ○で囲んでください。 ① 健康な心と体 ② 自立心 ③ 協同性 ④ 道徳性・規範意識の芽生え ⑤ 社会生活との関わり ⑥ 思考力の芽生え ⑦ 自然との関わり・生命尊重 ⑧ 数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚 ⑨ 言葉による伝え合い ⑩ 豊かな感性と表現		